



一般社団法人 日本森林学会

2020年度の「林業遺産」に4件が選定されました

日本各地の林業は、地域の森林をめぐる人間の営みの中で編み出され、明治期以降は海外の思想・技術も取り入れつつ、大戦期の混乱を経て今日に至るまで、多様な発展を遂げてきました。日本森林学会では学会100周年を契機として、こうした日本各地の林業発展の歴史を将来にわたって記憶・記録していくための試みとして、「林業遺産」選定事業を2013年度から開始しました。8年目となった2020年度は、4件を林業遺産(登録No.42~45)として認定しました。選定結果は、2021年5月24日の日本森林学会定時総会において公表され、各遺産の所有者・管理者等に認定証・記念品が贈呈されました。

「林業遺産」についての詳細情報は、日本森林学会のホームページをご参照ください。

<https://www.forestry.jp/activity/forestrylegacy/>



登録番号	林業遺産名	認定対象	成立年代	所在地	認定理由
42	かわうらやまごようぼく 川浦山御用木 おきりだしえ ず 御伐出絵図	川浦山御用木 御伐出絵図	1834 年 (天保5 年)	群馬県高崎市 倉沢町川浦 高崎市役所	巨木の伐採から 河川を利用した 木材運搬までが 描かれており、近 世幕藩体制にお ける林業の様子 を伝えている。
43	あきたはんかうろう 秋田藩家老 しげまさみつ 澁江政光の りんぎょうしろう 林業思想に 関する古文書 及び石碑	澁江政光之遺言 黒澤道家之覚書、 山林盛衰之大凡 考 木山方以来覚、 澁江政光君三百 年祭記念碑、 第2回全国育樹 祭記念碑	澁江政光之遺言 黒澤道家之覚書： 1614(慶長19)年 山林盛衰之大凡 考 木山方以来覚： 1818(文政元) 年～(1831文政 13)年澁江政光君 三百年祭記念碑： 1913年第2回全 国育樹祭記念碑： 1978年	古文書：秋田県 公文書館、澁江 政光君三百年 祭記念碑：千秋 公園、第2回全 国育樹祭記念 碑：秋田県民 の森	林業に関する先 駆的な思想及び、 思想が約400年 間引き継がれて ることを示して いる。
44	つげさわ 坪毛沢 ちくせい ヒバ木製 ちさんえんていぐん 治山堰堤群	ヒバ木製治山堰 堤11基	1916年(大正6 年)及び1953年 (昭和28年)～ 1958年(昭和33 年)	青森県五所川 原市飯詰 飯詰山国有林 内坪毛沢	現地調達木材に よる治山堰堤群 であり、近代の 技術及び木製土 木構造物の耐久 性を知る上で貴 重な存在である。
45	こうか まえびきのこ 甲賀の前挽鋸 せいぞう 製造および りゅうつう 流通に関する しりょうぐん 資料群	道具・用具 (総数1274点)、 文書資料 (総数418点)	江戸中期 ～昭和30年代	甲賀市甲南 ふれあいの館	日本社会におけ る森林資源利用 や建築文化に大 きな画期をもたら した前挽鋸に関 する技術や流通 の様相を示して いる。



秋田県公文書館所蔵



出典：東北森林管理局Webサイト



甲賀市教育委員会提供